

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	学校施設課長	濱本 正行
教育-18 小学校施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	学校施設課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針
		学校教育	学校施設の整備

1 事業の目的

対象	市立小学校16校
意図	安全で良好な教育環境を確保するため。
効果	児童たちが安全・安心な状態で教育を受けられる環境を整える。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 御成小学校旧講堂保存活用計画策定委員会を開催した。なお、当該計画策定に係る支援委託料については、年度内に事業が完了しなかったため、翌年度へ繰越しを行った。 小坂小学校のトイレ改修工事設計委託を行った。 今泉小学校の情緒通級指導教室改修工事及び工事監理委託を行った。 御成小学校の児童数増に対応するため、仮設校舎を賃借した。 大船小学校及び関谷小学校の校舎受水槽等改修工事を行った。
--

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備考
	人口	177,464人	177,243人	人口	176,869人	
世帯数	80,368世帯	80,676世帯	世帯数	80,928世帯		
事業の対象者数	8,054人	8,061人	事業の対象者数	7,947人		
運営資源状況	決算値(千円)	120,771	122,150	当初予算(千円)	226,086	繰越明許 御成小学校旧講堂基本計画策定支援業務委託事業 ・事業費 7,668千円
	国県支出金	14,423	15,968	国県支出金	27,976	
	地方債	66,100		地方債	118,900	
	その他			その他		
	一般財源	40,248	106,182	一般財源	79,210	
事業運営	人員配置数	0.2	0.4	人員配置数	0.4	
	人件費(千円)	1,487	2,999	人件費(千円)	3,033	
	総事業費(千円)	122,258	125,149	総事業費(千円)	229,119	
事業費	市民1人当りの経費(円)	689	706	市民1人当りの経費(円)	1,295	
	対象者1人当りの経費(円)	15,180	15,525	対象者1人当りの経費(円)	28,831	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 普通教室冷房設備設置及び御成小学校旧講堂保存活用の実施に向け、予算規模を拡大する必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	耐用年数を超過し、老朽化の進行する学校施設について、鎌倉市公共施設再編計画との整合性を考慮しながら、改築や大規模改修等の実施について検討する。 また、健康で安全な学習環境を構築するため、洋式便器、多目的トイレ及びドライフロアの拡充など快適なトイレづくりを進めるとともに、普通教室への冷房設備設置に向けた準備を進める。 御成小学校旧講堂については、御成小学校の教室不足などの教育環境の現状を踏まえ、児童が利用する施設として求められる機能や安全性を確保した上で、いかに保存し活用すべきか御成小学校旧講堂保存活用計画策定委員会の中で検討する。	

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	普通教室への冷房設備設置に向けた準備を進めなければならない。老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努めなければならない。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	普通教室への冷房設備設置に向け、28年度から設計業務を行えるよう調整した。児童、教職員及び保護者等小学校施設利用者からの改善要望の多いトイレ改修について、小坂小学校トイレ改修工事設計を行った。老朽化していた大船小学校及び関谷小学校校舎の受水槽改修工事を行った。平成28年4月に新たに開設する今泉小学校の情緒通級指導教室改修工事を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	普通教室への冷房設備設置に向けた準備を進めなければならない。御成小学校旧講堂の保存活用について検討しなければならない。老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努めなければならない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	普通教室冷房設備設置状況 ○:全小学校設置 △:一部小学校設置 ×:全小学校未設置								
団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	逗子市	三浦市
他市実績	×	○	○	△	×	×	×	○	×

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市では普通教室への冷房設備設置が順次進められており、児童の健康で安全な学習環境を構築するため、本市も計画的に事業を進めていきたい。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	普通教室への冷房設備設置					単位	校	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
計画どおり平成31年度までに小学校全校の普通教室に冷房設備を設置する。	目標値				4	6	6			
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---